



特定非営利活動法人 なんとなくのにお 通信

URL <http://www.nantonakuno.net/>

Mail info@nantonakuno.net



佐下部地区を流れる砥川・10月の「川むしたんけん隊」にて

<科学>ってなんだろう

4年目をむかえた、「なんにわ・サイエンスカフェ」

今年の5月に封切られた映画「天使と悪魔」のなかで「反物質」が重要な役を演じました。反物質は通常の物質に出会うと、大量のエネルギーを放出して「対消滅」という現象を起こします。もし反物質を作り、管理することができれば、まさに映画のように、大量破壊の新兵器となるでしょう。けれど、目に見えるほどの量を蓄積することは不可能であり、映画のお話は現実には起こりません。

その反物質の存在を80年ほど前に予言したのは、ディラックというイギリスの物理学者です。当時、反物質は理論上のものでしたが、宇宙線中に発見され、現在はPETによる放射線診断など、身近な応用もあります。物質と反物質は対で存在することがわかっており、どうやら「反粒子」は自然の基本法則に結びついているようです。対称性の研究で昨年ノーベル物理学賞を受けた益川敏英さんは、ディラックを「だれでも認める仮定から出発して、だれでも認める推論をして、だれも到達しないところへ行く天才である」と評しています。人物評ではありますが、科学のおもしろさを表現した、おもしろい言葉だと思います。

「あたりまえ」と思われることを積み重ねていくと、いまままで気づかなかったことや、新しい入り口が見えてくることがあります。ただし、これまで行われてきたことを漫

然と繰り返すやり方を見直す必要があります。実験を工夫したり、大量のデータを整理することも必要です。「科学」はその手続きを組み立てるための枠組み。直面した問題を科学的に解くために、どう推論し、どんな測定を行うのか。そんな話を、現場で活躍している人たちから直接聞いてみたら、きっと面白いだろう…。「サイエンスカフェ」を開く目的のひとつです。

もうひとつの大きなテーマは、「科学は身近にある」ということです。地域の自然などを相手にユニークな研究を行っている方々を「カフェ」で紹介し、科学とは大学や研究所だけで行われるものではなく、多様な形があることを、子どもたちに知らせたいと思います。7月の「カフェ」では「イモリ」について専門的に研究されている林さんのお話を伺いました。人間のすぐ隣に住んでいるイモリについて、「わかっていないことは、まだまだたくさんある」ということが印象に残りました。身の回りの「あたりまえ」をつきつめていくと、「わからないこと」が次々と出てくるものです。

2006年に始めた「サイエンスカフェ」、子ども向け、大人限定も交え、10月の「川むし」で25回目になりました。これからも取り組みを進めていきます。運営に興味のある方、講師をやってみたい方、講師を紹介したいという方、ぜひご連絡下さい。(090-3227-7079) これからもご参加ご協力よろしくお願ひします。(手塚)

目次

科学って何だろう	1
HP 掲載団体募集!	2
追悼・中島守さん	2
活動日誌	3
「学びサポート」近況	3
こんな本はいかが? (10)	4



居場所のひとつ

報徳会館の裏に小さな水路があります。いつ見ても、同じ水量できれいな水が流れています。今市市街に上水道が普及したのは1950年代代だそうです。50数年前はこの水が生活用水として使われていたのではないのでしょうか。来年、暖くなる頃、この流れに水車を置き、子どもたちと発電実験をやってみようと思います。

「ふれあい」（発行：今市地区社会福祉協議会 第31号）
「なんにわ」が紹介されました。

にこにこにっこう！

日光市子育て支援HPでは掲載団体を募集しています。
もちろん無料です。(日光市子育て支援事業) 気軽に連絡してください！
<http://www.nantonakuno.net/kosodate/>

現在の登録団体：

- おひさまはらっぱ
公園などでの自由遊び、季節の遊び
- のびのびキッズ
公園や児童館等での遊びや季節の行事
- エンジェル・キッズ
おうちで過ごす子どもたち同士の遊び場
- NPO法人 咲らん坊
地域で仲良く生きていけるためのそんな仕組みを築きたい
- NPO法人 和音
子どもに寄り添った学童保育の運営、体験学習・親子教室
- 日光もんちっくクラブ
日光ママのための子育てイベント、英語教室などを企画

「川むしたんけん隊」で
みつけたサワガニ。
たくさんの赤ちゃんガニ
がおなかにはばりついで
いました。(10月)



みな窓



NPO法人「なんとなくのにわ」代表

仲町 手塚 郁夫 さん

私たち「なんとなくのにわ」は「日光市およびその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して学習や自立の支援活動を行い、地域の人々が支える新たな学びの場を作り出すこと」を目的としたNPO法人で

「居場所」です。学校に行きづらさを感じている子どもたちを対象に、子どもたちが安心していられる場所づくり、子どもや親が話をしやすい場所づくりをめざしています。居場所には、不登校の子を心配する保護者の方が訪れ、スタッフと話

<http://nantonakuno.net/>

して帰られることもありま
す。そんな小さなことでも、
周囲の大人たちが変わるこ
とによって、子どもが元気
になればと私たちは考えて
います。
居場所の活動以外に、科
学をやっている人を呼んで
話を聞く、「サイエンス・
カフェ」、「発達障がい」
についての勉強会など、会
のメンバーがそれぞれの得
意分野で地域に向けて情報
発信をしています。私たち
の活動に興味をお持ちの方
ぜひご連絡ください。

追悼・中島守さん



本会設立時から、会計監査を務め、2008年度からは理事として参加していただいた中島守さんが10月にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。中島さんは以前から自然エネルギーについて関心をお持ちでした。豊富な電気技術の知識を生かした自宅近くの水路でのマイクロ水力発電設備稼働の実践、竹炭作りの試行など、ユニークな活動を行っていました。7年ほど前、旧今市市「新エネルギー検討委員会」に公募し、中島さんは会長として、私はメンバーとして、ローカルな水力

発電の可能性について、レポートを作り上げたことをなつかしく思い出します。

「サイエンスカフェ」講師の調整や、「川むしたんけん隊」の実施など、たいへんお世話になりました。「数年後には、会の活動目的のひとつ『自然環境の中での学びを作り出し、子どもたちに自然環境保全の大切さを啓発する活動』を具体化していこう」と話していた矢先でした。広い人脈を生かし、サイエンスカフェの講師をもっと紹介していただきたかった。エレクトロニクス工作の楽しさを子どもたちに伝える拠点作りも、一緒にやってみたかった。本当に残念な思いです。中島さんだったら、こんなプロジェクトを立ち上げたかもしれない、こんなやり方は駄目だと言うかもしれない。中島さんの視点をこれからもずっと持ち続けたいと思います。

(写真：自宅のマイクロ水力発電設備を説明する中島さん) (手塚)

☆ 活動日誌

- 8月14日 (金) 学びサポート・星見会
- 8月24日 (月) 発達障がい支援者連絡会 (第41回)
- 8月29日 (土) サイエンス・カフェ23 「お寺で宇宙談義・2」
- 8月30日 (日) ベリー会
- 9月5日 (土) 理事会 (第29回)
- 9月14日 (月) 茶話会 (第4回) 報徳今市振興会館
- 9月19日 (土) サイエンス・カフェ24 「里山の蝶～秋から冬の蝶～」
- 9月20日 (日) ワカモノフェスタ実行委員会
- 9月27日 (日) ベリー会
- 9月28日 (月) 発達障がい支援者連絡会 (第42回)
- 9月28日 (月) 市教委へ活動報告 (第1学期) 提出
- 10月3日 (土) 美術造形教室 (第1回)
- 10月4日 (日) サイエンス・カフェ25 「川むしたんけん隊」
- 10月12日 (月) 茶話会 (第5回) だいや川公園でピクニック
- 10月24日 (土) ワカモノフェスタ実行委員会
- 10月25日 (日) ベリー会
- 10月26日 (月) 発達障がい支援者連絡会 (第43回)
- 11月7・8日 (土・日) 全国引きこもり家族会 支援者代表交流・研修会 (仙台)
- 11月7日 (土) ワカモノフェスタ実行委員会
- 11月19日 (木) 栃木県立学悠館高校見学 (栃木市)



「里山の蝶」(報徳会館の大広間にて)



「川むしたんけん隊」
川に住むいろいろな生き物を見つけました

今年もやります! ワカモノフェスタ <なんにわ>はフェスタを応援しています。「高校中退」のブースでも参加。

学びサポートひろばのこのころ

今年「世界天文年」。ガリレオ・ガリレイが口径4センチメートルの望遠鏡を作り、天体観測を始めたのが400年前。これを記念して世界各地で行事が行われています。8月前半はほとんど曇りか雨でしたが、14日になってやっと夏らしい天気に戻ってきました。久しぶりに、今市小学校の校庭で子どもたちと星空を眺め、星空散歩を楽しみました。

10月22日から数日は「ガリレオの夕べ」という世界中で宇宙を眺めようという催しがありました。このときも、雲間から時折顔を出す月と木星を望遠鏡で観察しました。現在の木星は、南の空低く輝いています。小さな望遠鏡や双眼鏡でも、ガリレオが発見した4つの衛星を見ることができます。木星に関しては、太陽系の外側からやってくる彗星や小惑星をその重力で跳ね飛ばし、私たちの地球を巨大隕石から守っているという学説があります。だとすれば、私たちがいま存在できるのは木星のおかげなのです。ぜひ木星を眺めてみてください。(T)

毎週金曜日午後4時～8時

発達障がい、不登校のこどもの自主的な学びをサポートします。

場所: 日光市民活動支援センター (第2会議室)

時間: 開館時間内、11時まで

はじめの1ヶ月は無料です。その後は会費を負担いただきます。



主催: NPO法人 なんと行くのに
協力: 日光市民活動支援センター

ワカモノ・フェスタ

Now here ~可能性が広がるとき~

2009

日時 2009年12月6日(日)
午前10:00 ~ 午後6:00

場所 とちぎ青少年センター (アミークス)
宇都宮市駒生1-1-6
TEL 028(624)1488

参加費 500円
※中学生以下 無料

12/6(日)

不登校している人や、こもっているみんな、それに今悩んでいる真つ體中の子どもやワカモノたちが、自由に気楽に1日遊べるイベント!

えりのあ LIVE

15:45~

- よさこい
- しゃべり場
- バンド・三味線演奏
- フリーマーケット
- らくがきひろば
- スノーブレン
- 楽健法
- 手話教室
- 剣詩舞 など

楽しい企画をたくさん用意してお待ちしています(〇〇)

ワカモノカフェ メニュー盛りだくさん

- カレーライス・牛丼
- 天ぷらうどん・焼きそば
- 蒸しじゃが・パンケーキ
- おしるこ・フルーツポンチ
- ドーナツ・コーヒーゼリー など

秘密のメニューもあるよ!

15:00~

パンクラス太田さんの格闘技教室
「格闘技」って聞くとちょっとコワイ…けど、エクササイズでコロコロもカダもス〜ッキリ♪

お問い合わせ

主催 ワカモノ・フェスタ実行委員会
【電話】090-7269-4494 (加藤)まで
【メール】wakaf11@gmail.com
【ホームページ】http://www.geocities.jp/wakaf11/

発達障がい支援者連絡会
発達障がいを持つ子の親、学校関係者、市民団体等が自由に意見交換を行い、今できることに取り組んでいく集まりです。毎月第4月曜日、午後7時から、日光市民活動支援センターで開いています。どなたでも参加自由の会です。気軽にご参加ください。
(担当: 西尾・白井) 連絡: 090-3227-7079

子育て・親育ちの茶話会
場所: 今市報徳振興会館
日時: 毎月第2月曜日(午前10時~お昼)
参加費: 300円(お茶代)
次回は12月14日(月)です。
同じ悩みを持つ親御さん同士、気持ちを許し合って、情報や悩みを分かち合しましょう。「一人で悩まず、みんなで!」を合い言葉に

美術造形教室
昨年好評だった造形教室を3回連続で開催。10月3日(土) [終了]、12月5日(土)、2010年2月午後3時から5時まで
会場は日光市民活動支援センターを予定しています。参加費2,000円。興味のある方、お問い合わせください。

特定非営利活動法人 なんとなくのこわ 通信

〒321-1261 日光市今市378
電話 090-3227-7079 / Fax 0288-21-2631
E-mail: info@nantonakuno.net
ホームページもご覧ください。
<http://www.nantonakuno.net/>



ここにこにっこう！ 日光市子育て支援 HP
<http://www.nantonakuno.net/kosodate/>

こんな本はいかが？ その10

「枕草子」

山田 清一

高校生の時に古典の時間に教科書に載っていたので、「春はあけぼの…」と意味も判らずに暗唱させられた。しかし、文学作品として何故現代まで高い評価を受けているのかを知る通読に当てる時間はなかった。幸いにも昨年の11月から今年の5月上旬までに4回にわたって通読する機会を持ち、清少納言の人生観、男を鑑別する基準等が随筆風にしつかりと記述されている事が判った。文体も独特で、表現は柔らかいのに、とても辛辣だ。これは同じ時代の女性文学作品とは明白に異なっている。夢物語ではなく、あの時代を強く否定している部分や、反対に賛同している部分がはっきりと述べられている。意外だった！！

こんなことがわかり、作品自体をとても好きになった。私の一生の愛読書の中に加わった。「あはれ」でくられる日本文学のなかで、あれだけ明解に著者の意図が表出されている事には舌を巻く。おそらく60歳間近だから理解しえたのかも知れないが、「もののあはれ」が日本の古典作品に出てきたのはこの時期なのだろうか。

「はづかしきもの 色このむ男の心の内」第124段のこの部分がとても気に入った。古来から女も男も異性の品定めをしていた事がわかる。特に深く考えさせられたことは「色このむ男の心の内」という極単文の指す意味が時代が現代になるまでに、原文中で言おうしている意味とは大きく乖離をして“色このむ”＝スケベを指すかの如くなってしまったことだ。日本人の奥ゆかしさを意味していた言葉の意味が、下世話な意味にしか受け取られなくなったことは、どんな背景があるのだろうか。「子をさずかる」から「子を造る」への変化、日本人の奥ゆかしい心が消滅した表現と関連するのだろうか。

「古典」ものを残しておきたくても、現代の言葉とはとても大きな違いがあることが大きな壁だけれど、学校とは違いテストは無いのだから独学でも良いので覚えておくべきだ。昔人の生活を知っておけば、何かと便利だ。とっつきにくい事は事実であるけれど、現代に生きるための大きな指針となるだろう。読んでいて困る事は必ず、和歌(それも古今集や源氏物語とか梁塵秘抄などから)が引用されること。引用された和歌の意味がきちんと理解できないと中途半端か、全く理解できずに終わってしまう事だ。平安時代の貴族の女性には必須でも現代の我々には<暗号>に近い。この作品では普通に出てくる「いとをかし」という連結された言葉も、王朝時代の意味と現在ではおおきな隔たりがあるときが殆どだ。日本人でありながら、自国の古典が簡単には理解できない、この悔しさは「日本文化」を本当には理解できずに苛苛することになってしまう。あらためて、日本の古典文学はきちんと読み概要だけでも記憶しておかなくてはいけないと思う。

(2009/11)

私たちの活動目的：

日光市およびその周辺地区に居住する子どもおよび青少年等に対して学習や自立の支援活動を行い、地域の人々が支える新たな学びの場を作り出すことを目的とします。

私たちの事業：

- ① 子どもたちの自主性および自立性を尊重した居場所の提供および学びの場の運営
- ② 子どもたち一人ひとりに対応した、新たなカリキュラムや学習内容の開発
- ③ インターネットなどのIT環境を活用した学びの支援
- ④ 教育についての相談や情報提供活動
- ⑤ 学校外で育つ青少年の自立に関する相談および就労を支援する活動
- ⑥ 自然環境の中での学びを作り出し、子どもたちに自然環境保全の大切さを啓発する活動

会員について

正会員：44

賛助会員：17

団体会員：3

入会金はありません。

年会費(一口)：正会員3,000円

賛助会員 個人5,000円、団体10,000円

「なんにわ」活動の約3割は会費でまかなわれています。会員の継続をよろしく願います。会員は新たな事業の提案、会の事業の運営などに直接かかわることができます。皆様の積極的な参加をお願いします。



なんとなくのへや

先日「今市の水を守る市民の会」主催の「用水ウォーク」に参加しました。総合会館北側から今市市街を縦断する古い用水堀(和泉・平ヶ崎・千本木用水、通称：二宮堀)に沿ってのんびり歩くイベントです。用水が道路と交差する大がかりな仕組みにびっくりしたり、途中で出会ったおじさんの話を聞いたり、石碑をじっくり眺めたり、ふだん見慣れているはずなのに、違ったコースを集団で歩くと面白いことがたくさんあります。次回は2月実施予定だそうです。(T)